

# 平成27年度 組織拡充大会 団活動紹介

開催日 平成27年5月16日 会場 清水テルサ

地区名・団名	地区名	浜松地区	団名	浜松第1団
紹介者	役務	BS隊長	氏名	小林博之
活動地域	浜松市内周辺			
団規模	登録者	小林博之		
	スカウト	24名	指導者	13名

## 紹介活動

テーマ	上進率100%に向けて
内容	<p><b>組拡活動重点的に要約</b></p> <p>① 23WSJに参加するスカウト          BS⇒3名/7名(43%)、VS⇒3名/6名(50%)、RS(ISTとして)⇒4名/6名(67%)          参加意識が高いのは、ベンチャー隊活動を可視化している。          ◆スカウトへのプレゼンテーション          事前に行い、活動への意欲を高めるために行う。          ◆保護者へのプレゼンテーション          22WSJや16NJなど活動後に行い、スカウトの成長を知る機会とし、自分の子供への期待を植え付ける。          活動報告は視覚効果を狙ってムービーにて報告する。          ・保護者会、育成会総会にて報告          ・団行事などで、BVSスカウト、CSスカウト、BSスカウトにも報告する</p> <p>② 当団の上進率は100%、今回はBS⇒VS、VS⇒RSについて          ●活動重視のシステム          ●企画書・計画書は慣れてくれば書けるようになる(2回目、3回目と徐々に良くなる)          ●スカウトのやる気やモチベーションを下げないように、やりたいことをやらせる          ●行うことによって学ぶということ          ●隊長はスカウトを信頼すること⇒「おきて」の実践</p> <p>③ VS隊指導者の便利ツール          LINE⇒スカウトとの連絡用、またグループ活用で打ち合わせにも使える          DROPBOX⇒プロジェクトの置き場所。議長や隊長の承認がしやすい。メールでは手間がかかる</p> <p>④ VS隊の活動を活発にするためにはBS隊の活動が重要          班活動(班ハイキング・班キャンプ)をしっかりとやる(企画・計画をたてさせる)          VS上進時まで取得しておくべきバッジを理解し、取得させておく</p> <p>⑤ 段階的教育システム          各部門の活動のねらい、活動目標を忠実に実行していくこと          短期プログラム(隊集会までのプログラム)、中期プログラム(1年間のプログラム)、長期プログラム(入隊から上進までのプログラム)、超長期プログラム(入隊から25歳までのプログラム)を団委員、各隊指導者が理解した上で運営していく必要がある</p>

# 上進率100%に向けて

日本ボーイスカウト浜松第1団  
平成27年組織拡充大会

# 浜松第1団

1954年設立 創団61年

## 2015年登録人数

- ・ B V S スカウト 6名
- ・ C S スカウト 6名
- ・ B S スカウト 7名
- ・ V S スカウト 6名
- ・ R S スカウト 6名
- ・ 団委員、指導者 13名

## 23WSJへの参加スカウト

- BSスカウト                    3名／7名  
  43%
- VSスカウト                    3名／6名  
  50%
- IST (RS)                    4名／6名  
  67%

# ベンチャー隊活動の可視化

## ☆2つのプレゼンテーション

### ◆ スカウトへのプレゼンテーション

- 事前に行う
- 活動への意欲を高める

### ◆ 保護者へのプレゼンテーション

- 活動後に行う
- スカウトの成長を知る機会

# 活動報告は視覚効果を

- ◆ 保護者会
- ◆ 育成会総会
- ◆ 団行事



# 活動重視



企画書・計画書の書き方よりも実施させる

スカウトを

信頼

すること



# VS隊長の便利ツール



スカウトとの連絡に



プロジェクトの管理に

# ポイント

## BS隊での活動が重要

- 班活動の実施により自発的になる
- VS隊上進時までには取得しておく  
バッジを理解する



# 段階的教育システム

- BS隊はVS隊を見据えて活動計画をたてる
- CS隊はBS隊を、BVS隊はCS隊を

次のステップがわかっているから上進する

# まとめ

- 各部門が基本に忠実
- 年代の特性に合わせた指導・支援
- 小集団(班・組・チーム)を活性化させる
- 指導者は次の部門の進歩を考慮して  
プログラムを策定する

今年大学へ進学したスカウトは  
大学ローバー、地域ローバーに  
所属しました。

ありがとうございました。